

鳥取県中小企業団体中央会情報連絡員報告

〔平成30年12月〕

県内景況、停滞感が続く

～景況DI値は前月比10.5ポイント低下、前年同月比13.2ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比で26.3ポイント上昇、前年同月比では21.0ポイント低下。非製造業では、前月比で5.2ポイント上昇、前年同月比でも5.3ポイント上昇。

在庫数量 製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、前月比で8.3ポイント上昇、前年同月比では8.4ポイント低下。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比で10.5ポイント上昇、前年同月比では同水準。非製造業で21.2ポイント上昇、前年同月比でも5.2ポイント上昇。

取引条件 製造業では、DI値前月比で同水準、前年同月比では10.5ポイント低下。非製造業では、前月比で10.5ポイント低下、前年同月比でも5.3ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI値前月比で同水準、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比でも5.2ポイント上昇。

資金繰り 製造業では、DI値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では10.5ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では5.3ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では5.2ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに同水準。

景況 製造業では、前月比で同水準、前年同月比では10.6ポイント低下。非製造業では、前月比で21.0ポイント低下、前年同月比でも15.8ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比で10.5ポイント低下、前年同月比でも13.2ポイント低下で県内景況は停滞感が続いている。製造業では、食料品、印刷、生コンクリートなどの業種では、原材料が値上がりしており、収益状況に影響が出てきている。自動車関連など金属加工では好調を維持しているものの、建築関連の鉄骨加工では高力ボルト不足により納期に支障をきたす状態が続いている。非製造業では、年末需要により旅館業など一部業種で持ち直したものの、多くの業種で人手不足感が顕著であり、運送業においては、車両不足により出荷量増加に対応できない状況がみられた。また商店街においては空き店舗、更地化が深刻となっている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

12月の全国倒産は、件数627件、負債総額757億3,800万円(負債総額1,000万円以上)で、件数は2カ月ぶりに前年同月を下回り、負債総額は2カ月連続で前年同月を下回った。主因別では、不況型倒産は502件、構成比は80.1%を占めた。規模別では625件が中小企業に該当し、小規模企業は559件となった。

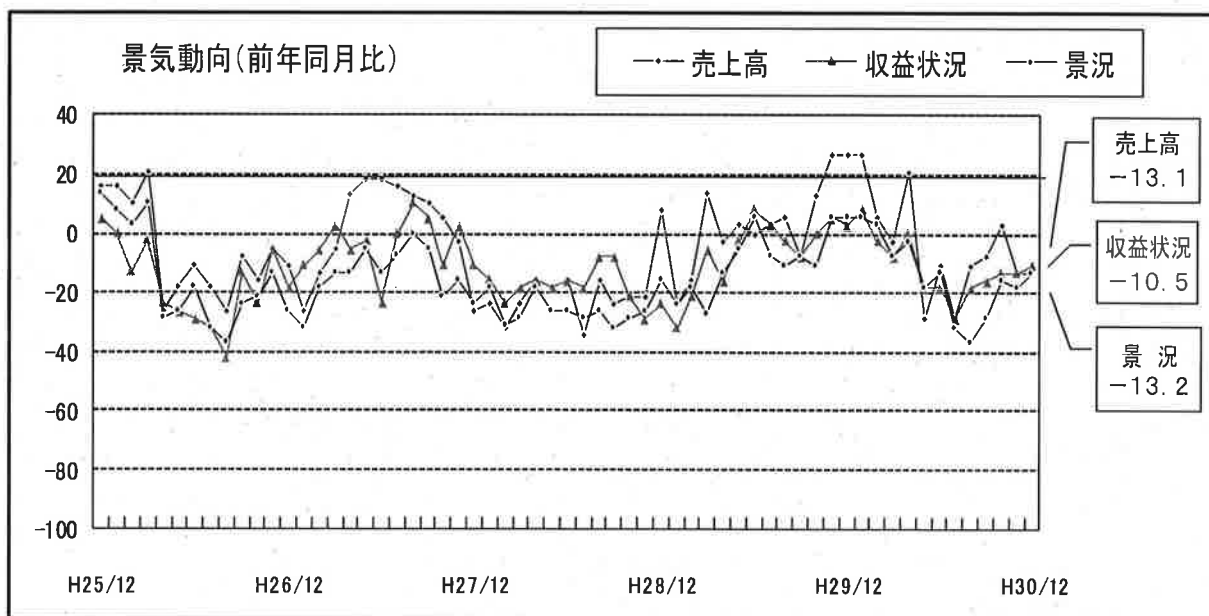
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件(前月0件)、負債総額は15億6,000万円(前月0円)となった。業種別としては、建設業1件、小売業2件、サービス業1件、主因別では全てが販売不振、負債額は5,000万円以上1億円未満2件、1億円以上5億円未満1件、10億円以上50億円未満1件となった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」)

鳥取県の11月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.71倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.63倍)で、前月を0.08ポイント上回った。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.41倍、米子所2.22倍、倉吉所1.94倍となった。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.59倍(季節調整値)で、前月を0.15ポイント上回った。

新規求人数は、前年同月比2.6%増加し、有効求人数は2.0%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業(21.3%)、運輸業・郵便業(32.7%)、サービス業(11.3%)、公務・その他(20.0%)等で増加した。新規求職者数は、前年同月比6.1%減少し、有効求職者数も3.4%減少した。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は2.11倍で、前年同月を0.02ポイント上回った。新規求人数は4.1%増加となった。

援



12月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	31.6%	5.3%	26.3 31.6	36.8%	31.6%	5.2 -10.6	34.2%	18.4%	15.8 10.6
(2)在庫数量	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	25.0%	16.7%	8.3 16.6	9.7%	12.9%	-3.2 0.0
(3)販売価格	10.5%	0.0%	10.5 0.0	26.3%	5.3%	21.2 21.2	18.4%	2.6%	15.8 10.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	5.3%	-5.3 -2.6
(5)収益状況	5.3%	5.3%	0.0 5.2	21.1%	15.8%	5.3 0.0	13.2%	10.5%	2.7 2.7
(6)資金繰り	5.3%	0.0%	5.3 0.0	15.8%	15.8%	0.0 10.5	10.5%	7.9%	2.6 5.2
(7)設備操業度	15.8%	0.0%	15.8 5.3						
(8)雇用人員	5.3%	0.0%	5.3 -5.2	10.5%	10.5%	0.0 -5.2	7.9%	5.3%	2.6 -5.3
(9)景況	5.3%	5.3%	0.0 0.0	5.3%	26.3%	-21.0 -21.0	5.3%	15.8%	-10.5 -10.5

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	42.1%	-21.0 -10.5	26.3%	31.6%	5.3 21.0	23.7%	36.8%	-13.1 0.0
(2)在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2	8.3%	16.7%	-8.4 8.3	6.5%	16.1%	-9.6 0.0
(3)販売価格	10.5%	10.5%	0.0 -15.8	10.5%	5.3%	5.2 -10.6	10.5%	7.9%	2.6 -13.2
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	7.9%	-7.9 -2.6
(5)収益状況	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	26.3%	21.1%	5.2 15.7	13.2%	23.7%	-10.5 2.6
(6)資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 15.8	5.3%	13.2%	-7.9 5.3
(7)設備操業度	26.3%	10.5%	15.8 0.0						
(8)雇用人員	21.1%	26.3%	-5.2 -10.4	5.3%	5.3%	0.0 5.2	13.2%	15.8%	-2.6 -2.6
(9)景況	10.5%	21.1%	-10.6 10.5	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	7.9%	21.1%	-13.2 5.2

*D Iとは、デフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料、副資材の値上げ、また最低賃金の引き上げによる人件費上昇により収益を圧迫している。同業他社との競争激化により値上げを行えない事業所もある。

醤 油⇒ 売上高は前月比、前年同月比とも不変。

【繊維・同製品】

婦 人 服⇒ 年末商戦の商品受注は例年通り多かった。年明けからも安定しており、3月末まで受注は埋まっている状況。しかし一部事業所では売上減少など厳しい状況が続いている。

ニット製品⇒ 春・夏物商品の受注状況は、依然として低調に推移している。中国からの輸入製品は大幅に減少しているが、ベトナム等からの輸入が増加しており、供給過剰の状態にある。国内メーカーは苦戦しているが、一部ユニフォームや学校販売分野では受注が堅調。

【家具装備品】

⇒ 空家の増加、一人住まいの増加などで家具市況は不安定。消費税増税前の駆け込み需要が予想されるものの、今までの動きより弱いと思われる。製販卸とも、手持ち在庫を抱えており、当用買いが増えており家具の流通量も停滞している。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加、製材品の出荷量は不変。合板の生産量は前月比で不変。原木価格も高止まりで、一部製材品の値上げもやむを得なくなっている。需要の落ち込む時期でもあり、春需要の在庫生産を進めている。プレカット加工の稼働率は前月比で不変、前年同月比で10%減少となったが、全体的に2月頃までは多忙。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 売上高は前月比で不変、前年同月比は若干の増加。年末需要もほぼ終わり不需求期入っている。年々先細りの状況に変化は見られず、業界全体に活気が見られない。円高が定着しているため輸出製品もかなり減少しており、小ロットのものが多。引き合いも低価格の製品が多く、採算的に難しい対応を強いられている。

【印 刷】

⇒ 製紙メーカーの値上げが発表され、紙離れが益々進むことが懸念される。仕事量の減少により価格競争が激化し、価格転嫁ができないため、経営の悪化が懸念される。また他社との差別化を図るために提案型営業の強化が重要。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 12月の生コン出荷量は、前年同月比で74%を示し、4月から前年割れが継続している。大型工事が終了し厳しさは増大している。地区別の出荷状況は、東部地区は54%、中部地区は97%、西部地区は117%。セメントの値上げ要求が強くなっているが、生コン価格の値上げ状況にない。西部地区では、受注残がある状況だが、東部・中部地区では前年を上回る物件がない。今後、山間部での災害復旧工事に伴い、現場数の多さと遠距離少量配達でミキサー車が間に合わないことが危惧される。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、夏頃まで受注を抱えおり多忙だが、ボルト不足が深刻で、建て方が遅れている。機械加工は、自動機・金型関係についても先行きは不透明な状況。

鉄骨加工⇒ 高力ボルト不足が続いている。春先に発注される案件も夏以降に建て方が延期される可能性が高い。コラムもひっ迫状態が続いており、民間の短工期物件などは工期が延期になる。工場も鋼材が入手できないため半年間は仲間内の応援程度しか工場稼働ができない。

【一般機械器具】

⇒ 売上高は前月比で年末休業による稼働日数の影響で減少したが、受注は活発。自動車、産業機器、エネルギー関係ともに好調を維持しているが、企業間の格差はある。前年同月比では相当上回っている。量産部品は今でも中国や東南アジアに流れる傾向がある一方、人件費の高騰とは別に技術力において日本の製造現場技術の優位性はある。多種少量生産ができる特殊技術を有する特徴的な企業は受注量が多い。他方、慢性的な人手不足により生産を縮小している企業も見受けられる。

【電気機械器具】

⇒ 部材不足などの影響で停滞している事業所もあるが、比較的順調に推移している。人手不足はますます深刻な状態となる可能性がある。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 青果関係では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少。降雪の影響はなく物流は良好であり年度末にかけて期待している。鮮魚関係では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少。近年の水産業の不況は続いている。また今後、松葉ガニの水揚げ制限の影響も懸念される。

中 部 地 区⇒ 前月比、前年同月比ともに売上高は増加。大型物件が受注できれば良いが、通常物件のみでは案件が少なく、提案型営業が必要。

西 部 地 区⇒ FC チェーン店や大型店の出店により、取引先への影響が深刻となっている。また直売の流れが進むなか、卸売業が淘汰されつつある。

水産物⇒ 巻き網漁では時化が多く月後半に100tを越えるブリの水揚げはあったものの、全体的には、アジ、サバの不漁が続き冷蔵庫稼働も例年に比べ大きく落ち込んだ。近海物は月前半までは松葉ガニの順調な水揚げがあったものの中盤以降水揚げ制限が始まり苦慮している。紅ズワイガニは高水準ではあるが比較的安定した浜相場で推移した。

リサイクル原料⇒ 鉄スクラップ市況は、11月の大幅な値下げに続き、全国的に荷余り感があり、輸出安の状況が続いたため12月も続落した。古紙市況は、関東で輸出入札が不調に終わったため高値が修正された。非鉄市況は、ロンドン金属取引所(LME)相場が弱基調のため、安値のまま膠着状況となった。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、飲食関連は、忘年会などの関係で比較的活況。宿泊関連は相変わらず好調。小売関連は、年末商戦も年々盛り上がりには欠け大きな伸びはなかった。駅前商店街では、空き店舗が増え、出店、撤退を繰り返している状況。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、年末商戦に客足が回復してくれることを望んだがかなわなかった。ナショナル会館跡地の複合施設「打吹回廊」の建築が軌道にのり、来年夏前の営業開始に期待している。商店街内に多くの更地が出来ているが、何とか多くの出店で賑わいが戻ってくることを希望している。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、本通り商店街・元町サンロードにおいて、平成最後の「歳の市」が開催され、広島東洋カープ選手の飛び入り参加もあり多くの来街者で賑わった。

境港市の水産物小売は、主要漁獲であるイワシ、サバ、アジ類は低迷したものの、カニの漁獲は好調であった。また水木しげるロードの来客数の増加等により、売上高は前月比で増加したが、魚離れ等で水産物小売は厳しく、前年同月比では減少となった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市では、鳥取砂丘イルージョン最終日まで天候に恵まれ入込数は大幅に増加したが、季節的要因もあり前月比で売上高は減少。鳥取県中部地震の影響も落ち着いたこともあり、売上高は前年同月比で大幅に増加し収益状況は好転した。

米子市のホテル・旅館では、忘年会シーズンであり、日帰客が増加し、販売価格も上昇したため、前月比で売上高は増加。前年同月比では、利用客も増加し、販売価格も上昇したため、売上高は増加し収益状況も好転した。業界全体の景況は、人手不足が顕著であり、設備更新が大きな課題となっている。

三朝温泉は、売上高は前月比で減少、前年同月比では不変。業界の景況は不変。

観光地の大山では、紅葉シーズンが終わり、売上高は前月比で減少、

前年同月比では不変であったが、12月後半まで雪がなく若干減少。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前月比17%減少、前年同月比6%減少。軽自動車は前月比4%減少、前年同月比2%増加。貨物自動車は、前月比0.2%減少、前年同月比15%増加、軽貨物自動車は前月比27%減少、前年同月比2%減少。軽自動車の県内保有台数の割合は52%と依然として高く、軽自動車は普通車に比べ部品や工賃が低いいため車検整備単価は低下傾向、整備売上高も減少傾向が続いている。

【建設業】

⇒ 前月より東部を中心とした大型災害復旧工事により受注は増加しており、今年度の受注総額は前年の数値まで回復してきている。今後は中・西部を含めた発注に期待。住宅建築では消費税増税の駆け込み需要が見込まれる。全体の景況としては、人手不足による工事・受注への影響や、原材料価格の上昇による収益への圧迫が懸念されている。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向(12月)は、件数139件(前年対比11%増)、請負金額50億26百万円(同9%増)となり、件数は2桁増加、請負金額は増加となった。請負金額地区別状況(12月末累計)は、東部地区(前年対比43%減)、八頭地区(同48%増)、中部地区(同15%減)、西部地区(同31%減)、日野地区(46%増)となった。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は234戸(持家156戸、貸家78戸)で、前月比22%減少、前年同月比でも7%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 12月の物流は、年末需要の影響もあり出荷量が増加し、往路、復路ともにこの時期は慢性的に車両不足となるため需要に対応できなかった。売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。燃料価格が今月も値下がりしたため、収益状況に改善がみられた。

西部地区⇒ 冬物商品などを中心に輸送量は増加、往路、復路ともに車両不足に陥った。年間で輸送量が最も多い12月は例年以上に運賃価格は繁忙期を迎え上昇はしたが人手不足により仕事を断らざる負えない状況が発生した。昨年夏から一貫して上昇してきた原油価格も先月から下落し始めた。世界同時株安の傾向が新年を迎えても続くようであれば、荷主企業の物流にも影響が出るものと予測される。人手不足など喫緊の課題は山積のまま、IT(人工知能)の活用で生産性向上に結び付けようにもコスト面など課題がある。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・消費税増税前に活性化策を打ち出してほしい。また空き店舗対策も手厚くしてほしい。(商店街)
- ・倉吉市内のナショナル会館跡地の複合施設「打吹回廊」の工事が始まり、各機関の引き続きのご支援・ご協力をお願いしたい。(商店街)

最近の指標の前月比D I の推移

		29年	30年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前年との増減幅
		12月	1月												
売上高	製造業	5.2	-26.4	10.5	15.8	-15.8	-15.8	52.6	0.0	-15.8	5.2	10.6	-5.3	26.3	21.1
	非製造業	21.1	-36.8	21.0	31.6	-31.5	-5.2	-5.2	-10.5	5.3	-21.1	10.5	15.8	5.2	-15.9
	全業種	13.1	-31.6	15.8	23.7	-23.7	-10.5	23.7	-5.3	-5.3	-7.9	10.5	5.2	15.8	2.7
在庫数量	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-10.5	10.5	0.0	-10.5	0.0
	非製造業	25.0	0.0	0.0	0.0	-8.3	0.0	-8.4	-25.0	-8.4	-16.7	8.4	-8.3	8.3	-16.7
	全業種	3.2	-6.4	-9.6	-3.2	-9.6	0.0	-6.4	-16.1	-3.2	-12.9	9.7	-3.2	-3.2	-6.4
販売価格	製造業	5.2	5.2	0.0	0.0	5.2	0.0	10.5	5.2	5.3	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3
	非製造業	5.2	15.8	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-5.2	0.0	10.6	-10.6	5.3	0.0	21.2	16.0
	全業種	5.2	10.6	-7.9	-7.9	-5.3	2.7	2.6	2.6	7.9	-5.3	2.6	5.2	15.8	10.6
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	非製造業	-5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	0.0	-5.2	-10.5	-5.2
	全業種	-5.3	-2.7	0.0	0.0	2.7	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	-10.6	0.0	-2.7	-5.3	0.0
収益状況	製造業	5.3	-15.8	5.3	5.2	-5.2	0.0	0.0	0.0	-10.6	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.3
	非製造業	-5.2	0.0	0.0	10.5	-26.3	-5.3	-36.8	-26.3	5.3	-31.6	10.6	5.3	5.3	10.5
	全業種	0.0	-7.9	2.6	7.9	-15.8	-2.6	-18.5	-10.6	-2.6	-15.8	5.3	0.0	2.7	2.7
資金繰り	製造業	0.0	-5.3	10.5	0.0	-5.2	-5.3	5.3	0.0	-5.2	-15.8	5.3	5.3	5.3	5.3
	非製造業	0.0	-15.8	-5.2	5.2	-10.5	0.0	-31.6	-31.6	-5.3	-36.8	-10.5	-10.5	0.0	0.0
	全業種	0.0	-10.6	2.6	2.6	-7.9	-2.6	-13.2	-15.8	-5.3	-26.3	-2.6	-2.6	2.6	2.6
設備操業度	製造業	0.0	-21.1	-5.3	5.3	-15.8	-5.2	31.5	0.0	-5.2	0.0	15.8	10.5	15.8	15.8
雇用人員	製造業	0.0	-15.8	0.0	10.5	10.5	-5.3	5.3	0.0	0.0	-10.5	0.0	10.5	5.3	5.3
	非製造業	-5.2	-10.5	-5.3	10.5	10.5	10.5	-15.8	-5.2	0.0	-26.3	10.5	5.2	0.0	5.2
	全業種	-2.6	-13.2	-2.6	10.5	10.5	2.7	-5.3	-2.6	0.0	-18.4	5.3	7.9	2.6	5.2
景況	製造業	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.2	-5.3	0.0	-10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	0.0	-26.3	-5.3	-5.3	-21.0	-10.5	-31.5	-31.5	0.0	-52.6	-5.3	0.0	-21.0	-21.0
	全業種	0.0	-15.8	-2.6	-5.2	-13.1	-7.9	-15.8	-21.1	0.0	-29.0	0.0	0.0	-10.5	-10.5

最近の指標の前年同月比D Iの推移

		29年	30年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前年との増減幅
		12月	1月												
売上高	製造業	21.0	15.7	-5.3	-5.3	-5.3	-15.7	5.3	-5.3	-5.3	-15.7	-5.2	-10.5	-21.0	-42.0
	非製造業	31.5	37.6	15.8	-10.5	47.4	-42.1	-26.3	-52.7	-15.8	0.0	10.5	-15.7	5.3	-26.2
	全業種	26.3	26.3	5.2	-2.6	21.0	-28.9	-10.5	-29.0	-10.5	-7.9	2.7	-13.1	-13.1	-39.4
在庫数量	製造業	-5.2	-5.2	-5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	-10.5	-5.3
	非製造業	-8.4	0.0	8.4	-16.7	16.7	-25.0	-25.0	-41.7	33.3	-33.3	-25.0	-16.7	-8.4	0.0
	全業種	-6.4	-3.2	0.0	-9.6	-3.2	-16.1	-16.2	-22.6	-12.9	-22.6	-9.6	-9.6	-9.6	-3.2
販売価格	製造業	0.0	5.2	-5.3	0.0	5.3	-10.5	5.3	0.0	10.5	5.3	5.2	15.8	0.0	0.0
	非製造業	21.1	5.2	10.5	10.5	0.0	-15.8	5.2	-21.1	-5.3	10.6	10.5	15.8	5.2	-15.9
	全業種	10.5	5.2	2.6	5.3	-2.7	-13.2	5.3	-10.5	2.7	7.9	7.9	15.8	2.6	-7.9
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-5.2
	非製造業	0.0	5.3	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-2.7	0.0	-2.7	-10.5	-5.3	-7.9	-7.9	-13.2	-13.2	-10.5	-2.6	-5.3	-7.9	-5.2
収益状況	製造業	0.0	0.0	-10.6	0.0	-10.6	0.0	-5.3	-5.3	-15.8	-5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-26.3
	非製造業	5.2	15.8	5.3	-15.8	10.5	-36.8	-31.5	-52.6	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	5.2	0.0
	全業種	2.6	7.9	-2.6	-7.9	0.0	-18.4	-18.4	-28.9	-18.4	-15.8	-13.1	-13.1	-10.5	-13.1
資金繰り	製造業	-5.3	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-5.2	-5.2	-10.5	-15.8	-15.8	-5.2	-5.2	-10.5	-5.2
	非製造業	-5.3	5.2	-5.2	-15.8	10.5	-21.1	-21.1	-42.1	-31.6	-36.8	-15.8	-21.1	-5.3	0.0
	全業種	-5.2	2.6	-5.2	-10.6	2.6	-13.2	-13.2	-26.3	-23.7	-26.3	-10.5	-13.2	-7.9	-2.7
設備操業度	製造業	15.8	0.0	-10.5	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	10.6	15.8	15.8	0.0
雇用人員	製造業	5.3	10.5	5.3	21.0	21.0	5.3	-7.5	5.2	10.5	5.2	0.0	5.2	-5.2	-10.5
	非製造業	0.0	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	10.5	-5.3	-10.5	-21.1	-10.5	5.2	-5.2	0.0	0.0
	全業種	2.6	5.2	0.0	7.9	7.9	7.9	5.3	-2.6	-5.2	2.6	2.6	0.0	-2.6	-5.2
景況	製造業	10.6	15.8	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-21.1	-10.6	-21.2
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	-15.8	0.0	-26.3	-21.0	-47.3	-47.3	-36.9	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8
	全業種	5.3	5.3	2.7	-7.9	-2.6	-18.4	-13.1	-31.6	-36.9	-29.0	-15.7	-18.4	-13.2	-18.5

情報連絡員報告総括表(平成30年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	0
繊維・同製品	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0
木材・木製品	2	2	0	0	2	2	1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	-0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0
化学ゴム																												
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0
一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
輸送用機器																												
その他																												
19	6	12	1	0	17	2	2	17	0	0	19	0	1	17	1	1	18	0	3	16	0	1	18	0	1	17	1	
100%	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	
卸売業	2	3	1	2	3	1	1	4	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	0	4	2	
小売業	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0				1	0	0	0	1	0	
商店街	1	2	1	1	2	1	1	3	0	0	4	0	1	2	1	1	2	1				1	3	0	0	3	1	
サービス業	1	0	4				1	4	0	0	3	2	0	3	2	1	2	2				0	3	2	0	3	2	
建設業	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
運輸業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	1	1	0	
その他																												
19	7	6	6	3	6	2	5	13	1	0	17	2	4	12	3	3	13	3				2	15	2	1	13	5	
100%	36.8%	31.6%	31.6%	25.0%	50.0%	16.7%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%	15.8%	68.4%	15.8%				10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	88.4%	26.3%	
38	13	18	7	3	23	4	7	30	1	0	36	2	5	29	4	4	31	3	3	16	0	3	33	2	2	30	6	
100%	34.2%	47.4%	18.4%	9.7%	74.2%	12.9%	18.4%	78.9%	2.6%	0.0%	94.7%	5.3%	13.2%	76.3%	10.5%	10.5%	81.6%	7.9%	15.8%	84.2%	0.0%	7.9%	86.8%	5.3%	5.3%	78.9%	15.8%	

